



2021年2月15日

各位

会社名 アンジェス株式会社
代表者名 代表取締役社長 山田 英
(コード番号 4563 東証マザーズ)
問合せ先 経理部長 櫻井 純
一般のお問
い合せ <https://www.anges.co.jp/contact/>

当期連結業績と前期連結実績との差異に関するお知らせ

当社は2020年12月期の通期連結業績につき現在開発中の新型コロナウイルス感染症予防DNAワクチンの開発費用等不透明な要素が多いことから未定としておりましたが、本日「2020年12月期決算短信〔日本基準〕(連結)」にて公表いたしました2020年12月期と前年実績に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 当期連結実績と前期連結実績との差異(2020年1月1日～2020年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期連結実績 (A)	326	△ 3,270	△ 3,293	△ 3,750	△ 35.81
当期連結実績 (B)	39	△ 5,599	△ 6,618	△ 4,209	△ 35.33
増減額 (B-A)	△ 286	△ 2,329	△ 3,325	△ 458	0.48
増減率 (%)	△87.8%	—	—	—	—

2. 差異の理由

- ・売上高につきましては「ナグラザイム®」の販売が2019年6月で終了したことにより、前期に比べ減少いたしました。
- ・営業利益につきましては、売上高の減少、新型コロナウイルス感染症予防DNAワクチンの開発費用の発生を主な要因とした研究開発費の増大により、前年を上回る営業損失となりました。
- ・経常利益につきましては、持分法適用関連会社であったEmendoBio Inc. (以下Emendo社といいます)の持分法による投資損失を2020年度12月期の営業外費用に計上いたしました。
- ・親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、2020年12月期第4四半期に買収し子会社化したEmendo社の買収以前に取得していた同社株式の段階取得に係る差益を2020年12月期の特別利益に計上いたしました。

以上